

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう!



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

都知事選7月5日投票 みんなで選挙、声かけを 宇都宮さんでいのち、くらし守る東京に

市民と野党で流れ変えよう



市民連合の山口二郎法政大学教授や立憲、共産、社民、国民民主の各野党代表の応援を受ける宇都宮候補 (25日・上野駅前)

五輪に影響するとしてPCR検査を抑え込み、「延期」が決定するや、「非常事態」としてコロナ感染防止の先頭に立っている感を連日かもしだした小池知事ですが、「東京アラート」は解除し、「これからは自粛から自衛」と責任放棄。その直後から感染者は増加傾向です。

71カ所あった保健所を31カ所まで減らし、今度はPCR検査・患者受け入れの中心でがんばっている都立・公社病院を民間に近い独立行政法人に移管するとしています。これでは都民のいのちはまもられません。

宇都宮けんじ候補は、都立・公社病院の独立行政法人化中止など、都民のいのちとくらしをまもる緊急課題をかかげ、市民と野党の共闘でがんばっています。(2面に「アピール」)

夏季一時金 組合員平均62万円(2.16カ月)

2次、3次回答引き出し95支部分会が妥結 なお産別団交など継続

JMITUの2020年夏季一時金のたたかいは6月26日現在、全国で148支部分会が回答を引き出し、組合員平均62万377円(2.16カ月)、支部分会平均58万6184円(1.92カ月)となっています。

昨年同時期比では組合員平均で3万9000円、支部分会平均で2万3000円下回っていますが、コロナ禍のなかでも2次、3次と回答を上積みさせ95支部分会が妥結。なお少なくない支部分会が産別団交など配置したたかっています。

3~5月にかけて多くの企業が業績を悪化させるもとでも、労働者のくらしをまもる経営責任を迫るととともに、危機を乗り越えるためにも、労働者のヤル気を引き出し労使の信頼関係の前進を主張。産別団交を積極的に開催し追い上げました。



全労連は6月25日、中央最低賃審議会の開催に合わせ要請行動。全国一律1500円めざし、「最賃引き上げ目安の大幅引き上げを」と訴えました(厚労省前)

JMITUは、いのちとくらしを守る東京都政への転換めざし、市民と野党の共闘でたたかう宇都宮けんじ候補の勝利へ、三木中央委員長と川口東京地本委員長が組合員向けのアピールを発表しました。全文を紹介します。

市民と野党の共同候補「宇都宮けんじ」さんの勝利で いのちとくらしをまもる都政への転換と東京から安倍政権の暴走にSTOPを！

—東京都知事選挙勝利に向けたアピール

2020年6月16日

(1) 6月18日告示、7月5日投開票の予定で東京都知事選挙が行われます。都知事選挙では、元日本弁護士連合会会長の宇都宮けんじさんが立候補を表明しました。東京地評を含む労働組合や市民団体などで構成する「革新都政をつくる会」が支援することを確認したほか、立憲民主党、日本共産党、社民党、新社会党、緑の党の5つの政党も支持を決めるなど、市民と野党の共闘の輪がひろがっています。JMITUと東京地本も、こうした仲間と共同し、宇都宮けんじさんを支援し、都民のいのちとくらしをまもる都政への転換にむけ全力をあげます。

(2) コロナ危機のもと、東京の労働者の雇用とくらし、中小零細企業の営業の悪化が急速にひろがっています。また、新型コロナ感染の第二波への不安がひろがっているもと、いのちと健康をまもることが都民の切実な要求となっています。今度の都知事選挙は、都民の生存権がかかった選挙です。

(3) 小池都政は、コロナ対応の中心を担っている都立・公社病院の独立行政法人(独法)化を強引にすすめています。独法化とは、都の責任が及ばない民間病院に近づけることです。コロナ感染から都民のいのちをまもるためにも都立・公社病院の独法化はただちに中止すべきです。小池都政はコロナ感染防止の要であるPCR検査の拡充にも消極的です。小池都政では、コロナ感染から都民のいのちと健康をまもることができません。

(4) この間、小池都知事は、「築地のブランドを守る」という公約を投げ捨て、豊洲への市場移転を強行しました。築地跡地には、大手ゼネコンのもうけのために国際会議や展示会が開ける大規模な施設や高級ホテルの建設を進めようとしています。また、IR(カジノを含む統合型リゾート)の誘致にも前のめりです。小池都知事は、前回立候補時の公約はすべて投げ捨てました。

(5) 宇都宮けんじさんの公約では、①医療体制充実と補償の徹底、②都立・公社病院の独立行政法人化中止、③カジノ誘致計画の中止を掲げています。その他にも、貧困化対策、都立大学授業料の無償化、外環道整備見直し、羽田新飛行ルート反対を重視して取り組むと述べ、コロナ対策でも「大型開発を中止し、年間約15兆円の予算を組み替え、都民の命・くらし・営業を支える都政に転換を図る」と述べています。これは、私たちの願いや要求に沿うものです。

(6) 宇都宮けんじ候補はクレ・サラ被害者の救済に東奔西走し、「貸金業法改正」を実現させました。その後、「脱貧困」運動の先頭に立ち、2008年、「非正規切り」の攻撃に対しては、「派遣村」名誉村長として、わたしたちとともに労働者の雇用と権利をまもるたたかいに立ち上がりました。まさに、都民のくらし破壊、大型開発優先の都政からの転換を実現できる候補者です。

(7) 東京都政の民主的転換は、安倍暴走政治を阻止する大きな力となります。今回の都知事選挙は政治の流れを変える絶好のチャンスです。こうした東京都知事選挙の意義と重要性を組合員と職場にひろげ、都知事選挙での宇都宮けんじさんの勝利にむけ全力をあげようではありませんか。

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月発行を基本としつつ、闘争時の職場のたたかいなどを適時発信していきます。各支部・分会などひろく展開してください。